



コロナ第2波への備え 院外で感染患者を収容する医療用ゲル型仮設ドームを発売 ～医療従事者への2次感染や院内感染リスクを低減～

野原ホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:野原 弘輔)は、新型コロナウイルス感染拡大の第2波への医療体制整備の支援として、院外での感染患者(重症患者を含む)の収容および換気・看護動線を考慮したゾーニングによる効率的な治療スペースを確保できる医療用ゲル型仮設ドーム「CONNECT DOME 1.0」(以下、コネクトドーム)を2020年6月1日より発売いたします。コネクトドームは、ドーム内で医療従事者が集中管理できる個室病床の確保と、効率の良い換気システムによる空気循環が主な特長です。感染患者の命を守る医療従事者の感染リスクを抑え、医療従事者の安全を図りながら治療・看護に集中できる環境を実現します。



院内が満床で、患者を収容するために病院敷地内の駐車場に仮設されたコネクトドーム

コネクトドーム | 医療従事者の心身の負担を軽減し安全を守る、3つの特長

コネクトドームは、コロナ第2波または新ウイルスの発生による緊急事態時に、病院内が満床で感染患者を収容できない場合または重症患者の治療スペース確保できない場合に、医療従事者の感染リスクを抑えながら、院外に収容・治療スペースを確保するものです。

■ 3つの主な特長 ※詳細は別紙参照

1. 円形ドームなので、センターに医療従事者を配置でき、効率的な看護で心身の負担を減らす

医療従事者は、センターから各病床エリアを一目で見渡し様子を把握できます。

2. 空気の流れをコントロールし、医療従事者の感染リスクを軽減

ドーム全体および各病床単位で陰圧環境を実現。ドーム内は、センター(医療従事者ゾーン)～病床エリア～ドーム天井排気への流路で空気循環を設定しています。



3. 最大直径 12mの大空間

重症患者の治療スペースとして、ドーム内に8病床を確保できます。

病院駐車場など、病棟から近くのエリアに設置することで、急変患者の収容にも利用できます。

防災対策などの多用途展開も可能

コネクトドームは、豪雨・強風に強い特殊構造です。これからの季節は豪雨などの自然災害も多発する可能性があります。各自治体は、新型コロナウイルス感染拡大防止を念頭に置いた防災対策が急務と言えます。

コネクトドームは、自治体が地域住民の安全確保のために、「3密(密閉、密集、密接)」を避け、ソーシャルディスタンスを維持した避難場所、防災テントとして屋内外に利用できます。



コネクトドーム販売の背景

私たちは、新型コロナウイルス感染拡大という緊急事態下において、感染防止策が万全でない中、医療従事者が感染患者への予断を許さない治療にあたり、ご自身が感染したり院内感染に拡大した事例を知りました。現在、感染者数や死亡者数は減少傾向にあり、まさに医療従事者の並々ならぬ尽力による患者の回復・感染拡大防止の結果であると実感しました。

私たちは、感染拡大が落ち着いている時期にこそ、医療従事者の安全を守り、より万全な医療体制の準備に貢献したいと考えました。野原グループ内で、医療施設に知見のあるメンバー、快適な住まいに見識のあるメンバーが集まってメディカルプロジェクトチームを結成。また、野原グループの商社機能を活かし、本プロジェクトにも以下のパートナー企業の協力を得ることができました。コネクトドームの普及を通じて、医療従事者の安全に加え、より安全で災害に強いまちづくりに貢献して参ります。

【パートナー企業】※順不同

WWB 株式会社、有限会社ヤマナカ産業、ローヤル電機株式会社、株式会社トルネックス、株式会社システム環境研究所

Reconext カンパニーについて

Reconext (リコネクスト) カンパニーは、主にオフィス・メディカルクリニックを中心に、新規オープン、移転、リニューアル、レイアウト変更などの内装改修工事を展開。多くの実績と総合リノベーションのノウハウに加え、3D ツールによるプラン提案やプレゼンサポートにより、様々な角度からお客さまのニーズに迅速にこたえる専門集団です。



野原ホールディングス株式会社および野原グループについて

創業 420 年の歴史をもつ野原グループは、これまで建設業界を中心に建材や鉄鋼関連およびセメントなどの建設資材、道路交通標識などの販売・施工を通して、事業を拡大するとともに、時代の変化に合わせた変革や創造を繰り返しながら成長してきました。

近年は、イノベーション・デジタルイノベーション・グローバルイノベーションをビジョンとし、弊社を中心にユニークな事業を創出しています。特に、プロ向け建材通販サイト「アウンワークス」や建設情報のデジタル化を目指す「BIMobject Japan 株式会社」など、デジタル技術を生かしたお客さまの生産性向上や、変化が大きいこの時代だからこそ、自らが産業の仕組みや社会を変えていくことを目指しています。

【WEB】 <https://www.nohara-inc.co.jp>



【本リリースに関する報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
社長室(担当：齋藤、青木)/TEL：03-6328-1576

【CONNECT DOME 1.0 に関するお客さまからの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
Reconext(リコネクスト)カンパニー/メディカルプロジェクトチーム
メール：medicalproject@nohara-inc.co.jp